



伊豆の国市立葦中中学校 学校だより

学校教育目標 「明日に希望を持つ今日を頑張る生徒」

重点目標 「かしこく考え やさしく暮らしよく楽しく生活する」

# 葦中だより

住所: 伊豆の国市立山393

平成31年4月15日発行  
第3号

自分自身の心を磨く黙働清掃に取り組みます!

葦中中学校長 手島雅恵

目  
あ  
生  
徒  
に  
し  
て  
い  
ま  
す。  
花  
徒昇降口  
で  
す。毎日  
に  
飾  
ら  
れ  
た  
が  
た



放送で黙働清掃についての呼びかけをしている様子。下は各掃除分担場所で役割等を決めている様子です。



本校では「PTA花の会」や「すずらんの会」の皆様がボランティアで定期的に校内にお花を飾ってくださいます。花を見て心が潤う、子供たちの感性を豊かなものにしていく温かい支援に感謝しています。

さて、今年度は環境委員会を中心に、「黙働清掃」に取り組んでいきます。3年環境委員長の信保光香さんが放送で以下の内容を全校生徒に向けて呼びかけました。

本年度、葦中は新たな伝統づくりに挑戦していきます。「黙働」という行為から生まれる我慢とやる気。話さない中で清掃するには協力や連携が必要になります。周りの友の心をくみ取る心が必要になります。たかが10分間の清掃ですが、されど、この10分間を自分の心を磨く時間と捉えて行っていきましょう。…

5月1日、令和に改元されます。葦中の清掃も平成最後の年から令和の最初の年にかけて新たな進化を遂げる年へと全校488名で取り組んでいきましょう。私たちならきっとできます。そして、この清掃が葦中の新たな伝統、代名詞となるように育てていきましょう。大切なのは皆さん一人一人の心、正直さです。

信保委員長さんのこのメッセージに私は、改めて中学生の持つ計り知れない魅力と何かに向かう時の人々に訴えかける表現力や行動力の確かさ、心強さを感じました。生徒会や委員会を中心に生徒の手でよき伝統を創り上げていく、こうした姿や活動が葦中では当たり前のように行われ、生徒も先生方もそのことをとても大事にしています。みんなで決めたことをみんなで守り、やり遂げていくことが人として仲間として心を尽くしていく大切さを実感することにつながっていきますね。「たかが10分間、されど10分間」の中で黙働清掃に真剣に取り組んでいく、心を磨いていく、こうした姿が根付いていくことを期待しています。

環境は人をつくる、人の手によって環境はつくられていくのです。密かに、さりげなく飾られた花に心を留め、落ちているゴミを拾い上げる、学校中がいつも整然としているような心遣いができる、そんな葦中生を目指していきたいです。



左の写真は、今年の青雲祭縦割りチーム決行を行った時のものです。ライフルで決まりを決定するたびに教室から歓声が挙げられました。特に3年生はとたつて声がわかれました。大成となる青雲祭。気運も高まつたのです。この活動では集まれました。



## 下駄箱の靴の姿が美しい！

写真のように下駄箱の状態がきちんとしていていつも気持ちがいいです。かかとを揃えて靴箱に入れるのは意識しないでできないことです。その意識が大事なのです。また、朝学年の先生方が生徒の登校確認をする際に、一人一人の靴を見ては、ほんの少しのずれを直している、そんな姿も見かけます。下の詩のように、はきものを揃えることは「人の心を揃えていくための第一歩」なのだと思います。これから続けていきます。

はきものを揃えると 心も揃う  
心が揃うと はきものも揃う  
脱ぐときに 揃えておくと  
履くときに 心が乱れない  
誰かが 亂しておいたら  
黙って揃えておいてあげよう  
そうすればきっと  
世界中の人の心も  
揃うでしょう

保護者の方からのご意見・感想  
( )年( )組( )(生徒名) )

三年生は修学旅行を決めていました。場所、交通手段など、楽しみです



いよいよ今週から本格的に授業が始まります。一時間一時間の授業でしっかりと確かな学力をつけていかなければなりません。真剣さや真面目さを大切に！

\*体罰やいじめ等教育活動の中で気になる点や心配